



熱心に担当者の話を聞く参加者の皆さん



歩行用プールが新登場

健康維持のきっかけの場に 「温水プール・トレーニング室」見学会

3月7日、4月1日に待望のオープンを迎える、市総合体育館附属温水プール・トレーニング室の見学会が行われました。

市民の皆さんに健康な生活を送ってもらうための一つの助けになれば、との目的で建てられたこの施設。

以前の市民プールに比べて広くなり、歩行用プールなど種類が増えて楽しみ方も増えました。

トレーニング室も併設されていて、個人に合ったトレーニングメニューを組んでくれる指導員が常駐します。

訪れた人たちは、機材の使い方などを尋ねるなど、オープンを心待ちにしている様子でした。

おうちにあるのとはちょっと違う？ 歴史ある雛人形

3月3日、市開拓記念館では毎年恒例になっている「ひな祭り」の無料開放が行われました。

ボランティアが来館者に甘酒などを配る中、伊達幼稚園の園児たちが訪れ、家にあるのとはまた雰囲気の違いを感じる雛人形をみて、楽しそうにしていました。

また、館内で展示している刀や鎧をみたり、貝合わせの貝を手にとったりして、興味津々な様子で目を輝かせていました。



子どもたちは展示品にくぎづけでした

市長に凱旋公演を報告する近野賢一さん



バリトン歌手 近野賢一さん 帰郷リサイタル「冬の旅」

伊達市出身のバリトン歌手近野賢一さんが、2月15日のカルチャーセンターでの凱旋公演を終え、市役所を訪問しました。

昨年1月30日にも市役所を訪れ、凱旋公演に意欲をみせていた近野さん。「地元への恩返し」と入場料無料で行った公演に、約1,000名が入れる同センター大ホールは満員状態。多くの観衆が注目する中、近野さんは、ドイツでの5年半の留学でさらに磨きのかかった中低域の魅力的な歌声を披露しました。

減災のこころがけ 「相手を知り、どう逃げるか」

3月18日、北星連合自治会では、室蘭地方気象台の職員を招いて「防災講演会」を開催。地域の約30名の皆さんが災害の仕組みや防災への心得などを学びました。

今回で3年ぶり2度目の取り組みです。

海に面しているためか、災害の中でも特に津波や高潮などへの関心が高いようで、それぞれが起きる仕組みについて熱心に耳を傾け、竜巻の予想や浸水区域など積極的に質問していました。



気象台の職員へ質問する自治会の皆さん

積もった雪を運ぶ子どもたち



芝生はどこに…?

3月9日、まなびの里サッカー場の雪かきが、ボランティアの手で行われました。

市サッカー協会の呼びかけで集まった市内のサッカー関係者約200名がスコップやそりなどを使い、厚く積もった雪をサッカー場の外に運びます。人工芝には、土や融雪剤などを撒くことができないため、雪をよけるためには人手が必要です。

サッカー好きの子どもたち。早く練習するために、苦労もいとわない様子はさすがでした。



自分を大事にすること、おもしろい大切さ 達南中学校「性の講話」

3月10日、達南中学校で3年生を対象にした性教育の授業が行われました。これは、4月から高校生になって今よりも行動範囲が広がる中、正しい性知識を身に着けるとともに、自分を大事にする気持ちを育ててほしいと市保健師といづり腎泌尿器科クリニックの医師仲山明宏さんを講師に招いて同校が行ったもので、16名の生徒が参加しました。

1 講目は男女別々の教室で、それぞれの体に備わっている機能、心や体の成長にまつわる話などを聞き、2 講目は全員で、デートDVにもふれつつ、性をテーマに大事な人を互いに思いやることなどが話され、生徒は熱心に耳を傾けていました。



熱心に話を聞く生徒たち



「おもしろい何より大事」と説く仲山さん